

第1期横瀬町こども計画

－別紙計画書－

令和7年3月

保育施設等整備(横瀬町保育所、横瀬町児童館)

1 保育施設整備について(概要)

横瀬町こども計画本編において、横瀬町保育所及び横瀬町児童館における施設整備を計画として定めています。

横瀬町保育所においては、「保育施設の環境整備」を掲げ、保育施設の改修等、保育環境の整備を行うことにより、提供する保育サービスの質の向上等を図ります。

横瀬町児童館においては、「学童保育室の充実」及び「児童館の充実」を掲げており、こどもの居場所の環境整備に向けて、施設の改修等を行います。 (参照:計画本編 p55、p56、p59、p60)

2 保育施設整備の意義

■就学前児童保護者へのアンケート調査

「不定期のこどもを預けることができるサービスを利用したい人」の希望の事業形態についてみると、大規模施設でこどもを保育する事業(保育所・幼稚園・認定こども園等)地域住民等による支援よりも公共の施設における支援が求められていることが伺え、町内の保育施設は今後も必要なインフラとして重要な施設になりうると考えます。 (参照:本編 p19 参照)

■こども・若者からのヒアリング調査

ヒアリング調査の意見には、下記のような人とのつながりを重視する意見等があります。

- ・居場所(地域環境)や雰囲気について、町のつながりが強い。
- ・困っていることや不安に感じていることについて、誰(どこ)に相談すればいいのかわからない。
- ・町内の人との関わり方について、町外の友人もいるが、地元の友人に会いたくなる。
- ・居場所(地域環境)や雰囲気について、人が温かく、町外の人からもその雰囲気を羨ましいと言われることがある。
- ・町に求めることや現状について感じていること(課題意識)について、一度町から出た人が、帰りたくなるような仕組みづくりがあるとよい。

幼少期のころから町内において人とつながりや、さらに大人になっても相談しやすい仲間や大人がいることは、こどもの人生にとっても意義深いものであり、幼少期から人間関係が構築されていく施設の存在は非常に重要なものと思われれます。

これらのニーズを踏まえ、保育施設等はこどもにとって人間関係の基礎を培う上で非常に重要な施設であり、また大人になってからもこどもの頃に培った人間関係は、次世代のこどもたちを育む上でも大切な支えになりえることが考えられます。 (参照:本編 p26～28 参照)

以上のことから、町内の保育所および児童館について、整備を推進していきます。

3 事業内容

第2期横瀬町子ども・子育て支援事業計画(p46、p49、p50)に基づき、令和6年度に各施設の整備を行っています。引き続き、令和7年度以降においても整備を継続します。

(1)令和6年度事業

①保育所維持管理事業

保育室床貼替／テラス床貼替／外壁等塗装／児童用トイレ改修

②児童館維持管理事業

排水整備／学童保育室LED化／砂場柵修繕／空調設備増設

(2)令和7年度以降事業

①保育所維持管理事業

調理室厨房機器入替／調理室空調機改修／防犯設備工事／

照明設備LED化工事／医務室空調設備工事／

門扉看板設置及び門扉・塀塗装工事／分電盤改修工事／

保育所クロス張替工事／保育所内部塗装工事

②児童館維持管理事業

ベビーシート交換／図書室エアコン交換／各部屋壁掛け扇風機交換